

覆土の分析結果について

本格撤去マニュアルでは、覆土（廃棄物の上層及び中間層に存在する土壌）については、掘削時に廃棄物と分離し仮置きして1,000立方メートル毎に分析を行い、土壌環境基準値以下の覆土は現場内利用し、基準値超過の覆土は撤去することとしています。

去る6月26日に、これまでに分離し仮置きしていた覆土について試料を採取し分析を行い、8月19日にその調査結果が判明しました。

1 分析を行った覆土の量 約4,500 m³

2 分析結果

約3,500 m³が土壌環境基準に適合
(詳細は別表のとおり)

3 利用方法

土壌環境基準に適合する覆土約3,500 m³については、現場南側エリアの廃棄物搬出用付け替え道路の盛土に利用。

別表

覆土分析結果一覧表

試料名	L1-1	L1-2	L1-3	L1-4	L1-5	基準
採取月日	H21. 6. 26	判定基準 (土壌環境基準)				
外観	礫混じり 土砂	礫混じり 土砂	礫混じり 土砂	礫混じり 土砂	礫混じり 土砂	
カドミウム (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
鉛 (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
砒素 (mg/L)	0.011	0.010	0.009	0.009	0.007	0.01 以下
ふっ素 (mg/L)	0.79	0.72	0.76	0.76	0.79	0.8 以下
ほう素 (mg/L)	0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	1 以下
ジクロロメタン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
トリクロロエチレン (mg/L)	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03 以下
テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
1,3-ジクロロプロパン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
ダイオキシン類 (pg-TEQ/g)	8.3	8.7	6.0	7.0	5.9	1,000 以下
備考 (土量/m ³)	1,000	1,000	1,000	1,000	500	